

# レビュー問題

小学校5年 算数

( 月 日)

## 【9-1 等しい分数】

氏名

- 1 次の分数に等しく、分母の小さい分数と分母の大きい分数を1つずつかきましょう。

(1)  $\frac{2}{6}$       (2)  $\frac{8}{12}$       (3)  $\frac{15}{18}$

	分母小さい	分母大きい
(1)		
(2)		
(3)		

- 2 次の分数を通分しましょう。

(1)  $\frac{7}{12}$ ,  $\frac{3}{4}$       (2)  $\frac{5}{12}$ ,  $\frac{9}{16}$       (3)  $\frac{2}{3}$ ,  $\frac{3}{4}$ ,  $\frac{4}{5}$

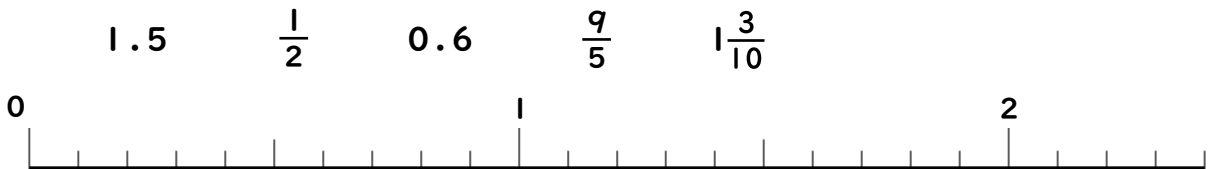
(1)	
(2)	
(3)	

- 3 次の数の大小関係を、不等号を使って式に書きましょう。

(1)  $\frac{1}{6}$ ,  $\frac{1}{7}$       (2)  $\frac{10}{3}$ ,  $\frac{100}{33}$

(1)	
(2)	

- 4 次の数を下の数直線に表しましょう。また、小さい順にかきましょう。



- 5 Aさんは、 $\frac{5}{6}$ と $\frac{3}{4}$ を下のように通分し、通分の仕方を次のように説明しました。

$$\frac{5}{6} = \frac{20}{24}$$

$\begin{matrix} \nearrow \times 4 \\ \searrow \times 4 \end{matrix}$

$$\frac{3}{4} = \frac{18}{24}$$

$\begin{matrix} \nearrow \times 6 \\ \searrow \times 6 \end{matrix}$

分母の6と4をかけると、公倍数24ができるので、分母が24になりました。

- Bさんは、 $\frac{5}{6}$ と $\frac{3}{4}$ を下のように通分しました。Bさんの通分の仕方を説明しましょう。

$$\frac{5}{6} = \frac{10}{12}$$

$\begin{matrix} \nearrow \times 2 \\ \searrow \times 2 \end{matrix}$

$$\frac{3}{4} = \frac{9}{12}$$

$\begin{matrix} \nearrow \times 3 \\ \searrow \times 3 \end{matrix}$

# レビュー問題

小学校5年 算数

( 月 日)

## 【9-1 等しい分数】

氏名	解答
----	----

1 次の分数に等しく、分母の小さい分数と分母の大きい分数を1つずつかきましょう。

(1)  $\frac{2}{6}$       (2)  $\frac{8}{12}$       (3)  $\frac{15}{18}$

分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わりません。

	分母小さい	分母大きい
(1)	$\frac{1}{3}$	(例) $\frac{4}{12}$
(2)	(例) $\frac{4}{6}$	(例) $\frac{16}{24}$
(3)	$\frac{5}{6}$	(例) $\frac{30}{36}$

2 次の分数を通分しましょう。

(1)  $\frac{7}{12}$ ,  $\frac{3}{4}$       (2)  $\frac{5}{12}$ ,  $\frac{9}{16}$       (3)  $\frac{2}{3}$ ,  $\frac{3}{4}$ ,  $\frac{4}{5}$

通分するときは、ふつう、分母の最小公倍数を分母にします。

(1)	$\frac{7}{12}$ , $\frac{9}{12}$
(2)	$\frac{20}{48}$ , $\frac{27}{48}$
(3)	$\frac{40}{60}$ , $\frac{45}{60}$ , $\frac{48}{60}$

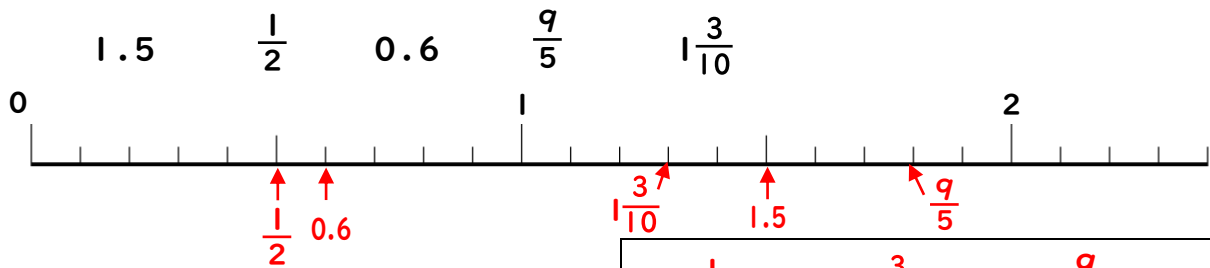
3 次の数の大小関係を、不等号を使って式に書きましょう。

(1)  $\frac{1}{6}$ ,  $\frac{1}{7}$       (2)  $\frac{10}{3}$ ,  $\frac{100}{33}$

(2)分母か分子のどちらかを同じにすれば、大小関係が考えやすくなります。

(1)	$\frac{1}{6} > \frac{1}{7}$
(2)	$\frac{10}{3} > \frac{100}{33}$

4 次の数を下の数直線に表しましょう。また、小さい順にかきましょう。



$\frac{1}{2}$ , 0.6,  $\frac{3}{10}$ , 1.5,  $\frac{9}{5}$

5 Aさんは、 $\frac{5}{6}$ と $\frac{3}{4}$ を下のように通分し、通分の仕方を次のように説明しました。

$$\frac{5}{6} = \frac{20}{24}$$

( $\times 4$ )

$$\frac{3}{4} = \frac{18}{24}$$

( $\times 6$ )

分母にそれぞれ4と6をかけると、公倍数24ができるので、分母を24にしました。

Bさんは、 $\frac{5}{6}$ と $\frac{3}{4}$ を下のように通分しました。Bさんの通分の仕方を説明しましょう。

$$\frac{5}{6} = \frac{10}{12}$$

( $\times 2$ )

$$\frac{3}{4} = \frac{9}{12}$$

( $\times 3$ )

(例) 6と4の最小公倍数は12なので、分母が12になるように6には2を、4には3をそれぞれかけました。